

週間漁海況情報 2025年第18号

令和7年5月7日発行

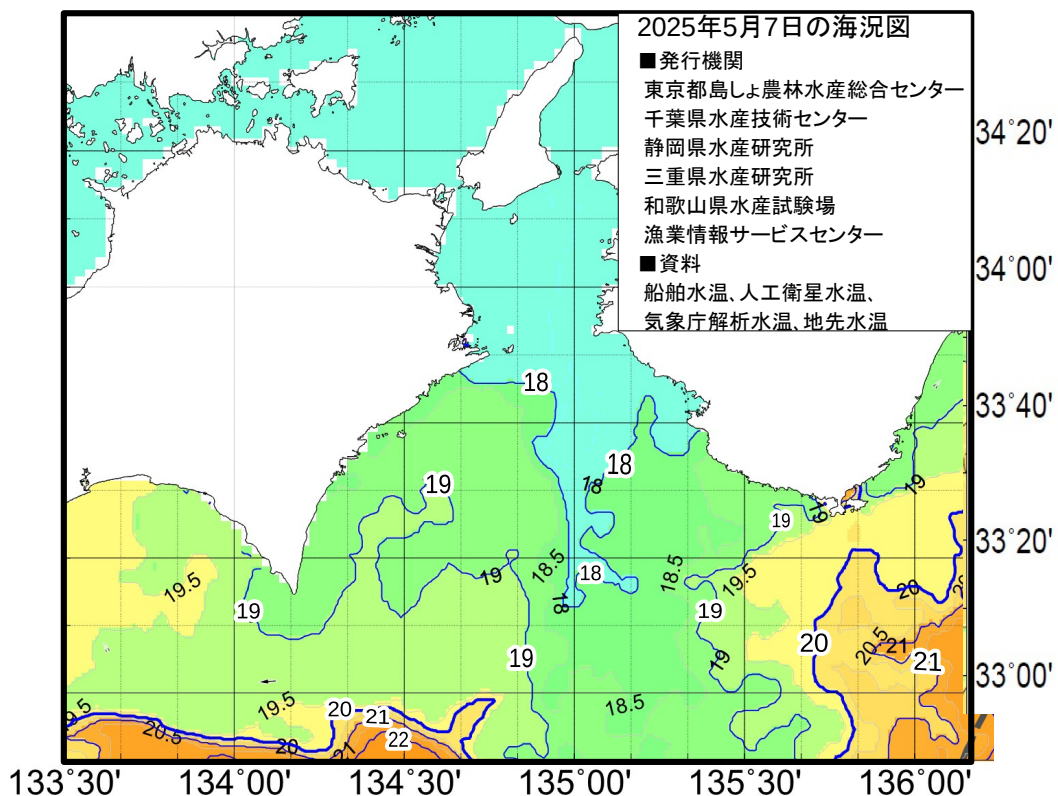
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖35マイル付近、潮岬沖80マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「離岸」している。

黒潮の表面水温は21～23℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で17、海部沿岸で17～19℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

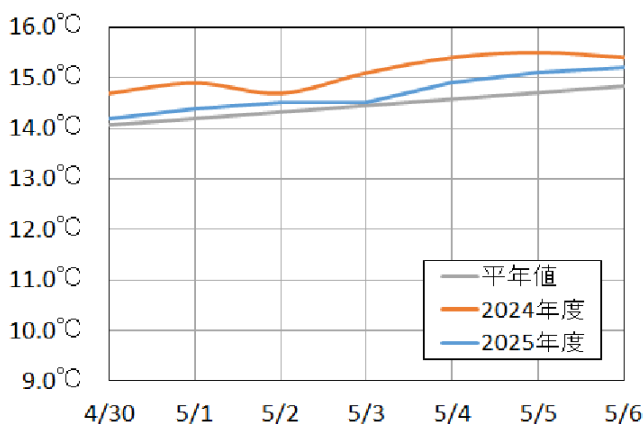
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

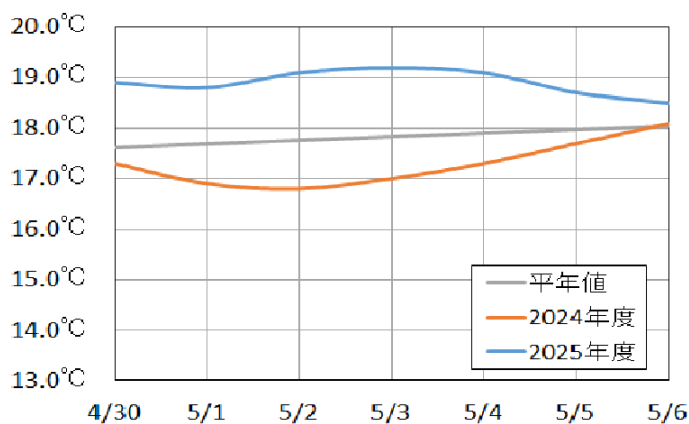
2. 地先水温(4月30日～5月6日)

鳴門地区の水温は、14.2～15.2℃で「平年並み」、浅川地区は、18.5～19.2℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.3～4.7℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(5月7日～5月13日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「平年並み」、浅川地区では「やや高め」で推移する見込み。

漁況

(4月28日～5月4日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

延縄では、ハモが5ト、あまだい類が0.8ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて中主体に1.2ト、えそ類が減って0.4ト水揚げされた。

建網では、イサキが減って大主体に0.5ト、メジナが減って大主体に0.5ト、

カワハギが減って大主体に0.4ト、アイゴが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.8ト、アイゴが大きく増えて0.7ト、

マアジが大きく減って特大主体に0.4ト、カワハギが大主体に0.4ト、マダイが0.4ト、

ボラが増えて大主体に0.4ト、クロダイが減って0.3ト、ヒラメが減って0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄では、あまだい類が減って0.3ト水揚げされた。

建網では、メジナが0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが増えてめじろ級主体に7.6ト、クロダイが大きく増えて1.9ト、

マアジが大きく増えて1.3ト、マルソウダが大きく減って0.7ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.25トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	33	ハモ	4,957	150		→
		53	あまだい類	817	15		→
	底びき網	16	ハモ	1,239	77	中主体	↗↗
		16	えそ類	409	26		↘
	建網	20	イサキ	532	27	大主体	↘
		47	メジナ	462	10	大主体	↘
		56	カワハギ	408	7	大主体	↘
		20	アイゴ	360	18		↗↗
	小型定置網	18	ブリ	797	44	めじろ級主体	↘↘
		16	アイゴ	738	46		↗↗
		18	マアジ	441	24	特大主体	↘↘
		18	カワハギ	437	24	大主体	→
		18	マダイ	414	23		→
		12	ボラ	352	29	大主体	↗
		20	クロダイ	305	15		↘
		19	ヒラメ	283	15		↘
海部沿岸	延縄	9	あまだい類	323	36		↘
	建網	47	メジナ	268	6		→
	大型定置網	5	ブリ	7,558	1,512	めじろ級主体	↗
		5	クロダイ	1,925	385		↗↗
		5	マアジ	1,342	268		↗↗
		5	マルソウダ	667	133		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘